



2025年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年11月14日

上場会社名 株式会社白洋舎 上場取引所 東
コード番号 9731 URL <https://www.hakuyosha.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 五十嵐 瑛一
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 橋本 裕之 (TEL) 03(5732)5111
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第3四半期の連結業績(2025年1月1日～2025年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第3四半期	33,084	2.0	1,715	△7.0	1,833	△8.9	1,335	△17.0
2024年12月期第3四半期	32,434	2.0	1,844	7.1	2,013	4.4	1,609	26.4

(注) 包括利益 2025年12月期第3四半期 1,418百万円(△11.8%) 2024年12月期第3四半期 1,607百万円(10.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第3四半期	352.36	—
2024年12月期第3四半期	424.79	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期第3四半期	33,067	11,721	35.1
2024年12月期	32,753	10,545	31.9

(参考) 自己資本 2025年12月期第3四半期 11,604百万円 2024年12月期 10,452百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	25.00	—	35.00	60.00
2025年12月期	—	30.00	—	—	—
2025年12月期(予想)	—	—	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年12月期の連結業績予想(2025年1月1日～2025年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	44,000	1.0	2,350	2.4	2,570	2.7	1,950	△12.0 514.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年12月期3Q	3,900,000株	2024年12月期	3,900,000株
② 期末自己株式数	2025年12月期3Q	107,730株	2024年12月期	112,078株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年12月期3Q	3,791,519株	2024年12月期3Q	3,789,447株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2025年1月1日～9月30日)におけるわが国経済は、景気は緩やかな回復基調が見られた一方、エネルギー・原材料価格の高止まりや物価の上昇に加え、米国関税政策が世界経済や為替相場に与える影響が不安視される等、先行き不透明な状況が続きました。

こうした状況下、当社グループは、2024年から2026年までの3ヶ年における中期経営計画において、「構造改革の完遂」「オペレーションの磨き上げ」「マーケティングによる収益力向上」「事業ポートフォリオの最適化」を基本方針に掲げ、事業を通じた社会課題の解決と、持続的な成長軌道の確立を目指しております。

当社グループの当第3四半期連結累計期間における業績は、レンタル事業における法人得意先の堅調な稼働等により、売上高は33,084百万円(前年同四半期比2.0%増)となりましたが、営業利益は、人件費やレンタル品償却費の増加等により1,715百万円(前年同四半期比7.0%減)、経常利益は1,833百万円(前年同四半期比8.9%減)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券売却益の減少等により、1,335百万円(前年同四半期比17.0%減)となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

第2四半期連結会計期間より、報告セグメントの「物品販売」は量的重要性が低下したことに伴い、「その他」の区分に変更しております。なお、前第3四半期連結累計期間の業績についても、変更後の区分に基づき当連結会計期間の業績との比較を行っております。

<クリーニング>

クリーニング事業は、主に個人のお客さまを対象とし、お客さまからお預かりしたお品物をクリーニングすることを主たるサービス内容とする事業セグメントです。対象アイテムとして、衣服のほか、ふとん・じゅうたん・カーテンといったご家庭用のアイテム等を幅広く取り扱っております。また、全国のお客さまにライフスタイルに合わせてご利用いただけるよう、直営およびフランチャイズの店舗に加え、クリーニングに関する知識を持った自社スタッフである「CLP(クリーン・リビング・パートナー)」がお客さまのご自宅までお伺いする集配サービスや、宅配便を用いてお預かりとご返送を行う「らくらく宅配便」等、複数の営業窓口を展開いたしております。

当事業は、服装のカジュアル化や在宅勤務の普及等を背景に、中長期的に需要が低下する傾向にあります。こうした状況を受け、当社グループでは、拠点の集約・統合を通じた業務効率の改善や、不採算店舗の閉鎖・移転といった構造改革に取り組んでおります。加えて、商圈毎の特性に合わせたCLP集配ルートの最適化や、店舗における運営体制の見直し等を通じて、固定費の圧縮やコスト構造の改善を図るとともに、包装用プラスチックのリサイクルスキームに参画する等、環境配慮に向けた取り組みも強化しております。

クリーニング事業の売上高は、4月1日からの料金改定により単価が増加したものの、夏季における酷暑に伴う来店客数の減少等もあり、集品点数が減少したこと等から、12,496百万円(前年同四半期比0.6%増)と微増に止まり、セグメント利益(営業利益)は、人件費、資材費等が増加したことから、1,337百万円(前年同四半期比6.8%減)となりました。

<レンタル>

レンタル事業は、主に法人のお客さまを対象とし、当社グループの保有するリネン品やユニフォームを、クリーニング付きでレンタルすることを主たるサービス内容とする事業セグメントです。ホテル・レストラン等のリネン品を取り扱うリネンサプライ部門と、コンビニエンスストアや外食産業、食品工場等のユニフォームを取り扱うユニフォームレンタル部門の2つの部門があり、それぞれの部門において、レンタル品のクリーニングや在庫管理、集荷・配送といったサービスを総合的にご提供いたしております。

当事業は、リネンサプライ部門において、政府の観光立国化政策を背景とするインバウンド需要の拡大等により市場の活性化が進み、ユニフォームレンタル部門においては、食品工場等における衛生意識の高まり等を背景に堅調な需要が見られる状況にあります。こうしたなか、需要の取り込みに向けた営業体制・生産体制の整備を進めると共に、工場原価管理の精緻化等による事業収益の向上を図っております。

レンタル事業の売上高は、リネンサプライ部門において、訪日外国人の増加を背景とする得意先ホテルの堅調な稼働に支えられたほか、コスト増を受けた取引価格の改定を計画的に実施したこと等から、19,878百万円(前年同四半期比3.5%増)となり、セグメント利益(営業利益)は、レンタル品償却費や人件費、集配車両費等の上昇はあったものの、1,739百万円(前年同四半期比7.2%増)となりました。

〈不動産〉

不動産事業では、不動産の賃貸および管理を行っております。

不動産事業の売上高は365百万円(前年同四半期比0.1%増)、セグメント利益(営業利益)は251百万円(前年同四半期比5.4%減)となりました。

〈その他〉

その他の事業として、クリーニング業務用の機械・資材等の販売を行っております。

その他事業の売上高は、ユニフォーム販売の集約等に伴い、345百万円(前年同四半期比20.0%減)、セグメント利益(営業利益)は59百万円(前年同四半期比29.1%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ314百万円増加し、33,067百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金の減少106百万円等により25百万円減少し、11,793百万円となりました。

固定資産は、建物及び構築物(純額)145百万円、投資有価証券の増加236百万円等により339百万円増加し、21,273百万円となりました。

また、流動負債は、短期借入金の減少493百万円、1年内返済予定の長期借入金の増加1,172百万円等により659百万円増加し、10,850百万円となりました。

固定負債は、長期借入金の減少1,426百万円等により1,521百万円減少し、10,495百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の増加1,082百万円等により1,176百万円増加し、11,721百万円となりました。

自己資本比率は前連結会計年度末の31.9%から35.1%へ増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の連結業績予想につきましては、2025年2月14日に発表いたしました2025年12月期の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,315	1,208
受取手形及び売掛金	4,246	4,218
棚卸資産	5,558	5,809
その他	738	595
貸倒引当金	△38	△38
流動資産合計	11,818	11,793
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	20,964	21,324
減価償却累計額及び減損損失累計額	△15,677	△15,892
建物及び構築物（純額）	5,286	5,431
機械装置及び運搬具	10,085	10,114
減価償却累計額及び減損損失累計額	△8,376	△8,431
機械装置及び運搬具（純額）	1,708	1,682
土地	6,207	6,207
リース資産	4,265	4,460
減価償却累計額及び減損損失累計額	△3,204	△3,354
リース資産（純額）	1,060	1,106
その他	1,411	1,403
減価償却累計額及び減損損失累計額	△1,258	△1,244
その他（純額）	153	158
有形固定資産合計	14,416	14,587
無形固定資産	364	357
投資その他の資産		
投資有価証券	2,544	2,781
差入保証金	819	777
繰延税金資産	1,727	1,717
退職給付に係る資産	1,078	1,081
その他	82	69
貸倒引当金	△99	△97
投資その他の資産合計	6,152	6,329
固定資産合計	20,934	21,273
資産合計	32,753	33,067

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,559	2,561
短期借入金	1,777	1,284
1年内返済予定の長期借入金	2,629	3,802
未払法人税等	358	354
賞与引当金	179	438
その他の引当金	27	45
その他	2,658	2,363
流動負債合計	10,190	10,850
固定負債		
長期借入金	5,428	4,001
役員退職慰労引当金	34	30
役員株式給付引当金	86	88
環境対策引当金	62	62
退職給付に係る負債	3,662	3,638
資産除去債務	476	464
その他	2,266	2,209
固定負債合計	12,017	10,495
負債合計	22,207	21,346
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,410	2,410
資本剰余金	1,567	1,567
利益剰余金	5,437	6,520
自己株式	△334	△323
株主資本合計	9,081	10,174
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	715	876
為替換算調整勘定	50	15
退職給付に係る調整累計額	605	538
その他の包括利益累計額合計	1,370	1,429
非支配株主持分	92	116
純資産合計	10,545	11,721
負債純資産合計	32,753	33,067

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
売上高	32,434	33,084
売上原価	27,330	28,003
売上総利益	5,103	5,081
販売費及び一般管理費	3,259	3,365
営業利益	1,844	1,715
営業外収益		
受取配当金	37	32
受取補償金	71	73
為替差益	30	—
持分法による投資利益	59	45
その他	142	136
営業外収益合計	342	287
営業外費用		
支払利息	151	160
シンジケートローン手数料	0	0
為替差損	—	4
その他	21	4
営業外費用合計	173	169
経常利益	2,013	1,833
特別利益		
投資有価証券売却益	230	9
特別利益合計	230	9
特別損失		
固定資産処分損	9	17
特別損失合計	9	17
税金等調整前四半期純利益	2,233	1,825
法人税、住民税及び事業税	360	522
法人税等調整額	234	△57
法人税等合計	595	465
四半期純利益	1,638	1,359
非支配株主に帰属する四半期純利益	28	23
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,609	1,335

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
四半期純利益	1,638	1,359
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	41	160
為替換算調整勘定	△47	13
退職給付に係る調整額	△51	△67
持分法適用会社に対する持分相当額	26	△47
その他の包括利益合計	△30	59
四半期包括利益	1,607	1,418
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,588	1,394
非支配株主に係る四半期包括利益	19	24

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号2022年10月28日)、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号2022年10月28日)及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号2022年10月28日)を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	報告セグメント			合計 (百万円)	その他 (注1) (百万円)	調整額 (注2) (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3) (百万円)
	クリーニング (百万円)	レンタル (百万円)	不動産 (百万円)				
売上高							
顧客との契約から生 じる収益	12,424	19,213	—	31,637	431	—	32,069
その他の収益	—	—	365	365	—	—	365
外部顧客への売上高	12,424	19,213	365	32,002	431	—	32,434
セグメント間の内部 売上高又は振替高	525	11	52	589	1,022	△1,612	—
計	12,949	19,225	417	32,592	1,454	△1,612	32,434
セグメント利益	1,436	1,622	266	3,324	45	△1,525	1,844

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントでありクリーニング業務用の機械・資材等の物品販売を取扱う事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,525百万円には、セグメント間消去41百万円、各セグメントに配賦していない全社費用△1,567百万円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	報告セグメント			合計 (百万円)	その他 (注1) (百万円)	調整額 (注2) (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3) (百万円)
	クリーニング (百万円)	レンタル (百万円)	不動産 (百万円)				
売上高							
顧客との契約から生 じる収益	12,496	19,878	—	32,374	345	—	32,719
その他の収益	—	—	365	365	—	—	365
外部顧客への売上高	12,496	19,878	365	32,739	345	—	33,084
セグメント間の内部 売上高又は振替高	564	10	48	623	921	△1,544	—
計	13,060	19,888	413	33,362	1,266	△1,544	33,084
セグメント利益	1,337	1,739	251	3,328	59	△1,672	1,715

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントでありクリーニング業務用の機械・資材等の物品販売を取扱う事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,672百万円には、セグメント間消去34百万円、各セグメントに配賦していない全社費用△1,707百万円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第2四半期連結会計期間より、従来報告セグメントに含めていた「物品販売」事業は、量的重要性が低下したことに伴い、報告セグメントに含まれない「その他」セグメントとしております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分により作成したものを記載しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 自 2024年1月1日 至 2024年9月30日	当第3四半期連結累計期間 自 2025年1月1日 至 2025年9月30日
減価償却費	898百万円	901百万円